



町田市立鶴川第二中学校

鶴二中だより

第1号

令和8年4月14日

TEL042-734-4343

「新年度にあたり」

校長 小島千恵

新年度がスタートしました。1年生は新しい学校に、2・3年生は新しい学年・クラスとなり、生徒たちは緊張のなかにも頑張ろうとする決意が表情や言動に現れています。

生徒たちは新しい環境のなかで、たくさんの出会いをし、そして多くの学びや体験をしていくことでしょう。その1つ1つが自信となり力となって、充実した1年間を過ごしていくものと期待しています。そして、生徒たちが安心して学校生活を送り、多くの学びや活動を通して心を豊かに育て、健やかな成長を遂げることができる学校の実現を目指して教育活動を進めてまいります。

〈本校の学校教育目標〉

- 自ら学び、創造性のある生徒を育てる
- 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒を育てる
- 心身ともに健康で、忍耐力のある生徒を育てる

教職員一同、生徒たちの活躍と成長を期待するとともに、学校教育目標の実現に向け、本年度の学校経営方針として、「生徒一人一人を大

切にした、穏やかで温かい学校」「自己実現に向けて積極的に活動できる学校」を目指した指導に尽くしてまいります。今年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

学校は、保護者の皆様方、地域の皆様方のご支援・ご協力を得て初めて充実した教育活動を行うことができます。そして、保護者や地域の皆様方と信頼関係で結ばれてこそ、子どもたちの健やかな成長、充実した満足感の得られる学校生活を実現させることができます。

学校では緊張感をもって生徒たちを注意深く見守ってまいります。そのために最も大切なことは、保護者の皆様とのコミュニケーションを大切にし、一人一人のお子様の情報を共有しながら迅速かつ丁寧に対応していくことです。どのような些細なことでも結構です。お子様の様子がいつもと違う、何か変だ、元気がないなど、気になることがございましたら、担任をはじめ本校教職員であれば、誰でも結構ですから、できるだけ早く、ご連絡ご相談ください。学校と保護者や地域の皆様とで共に、子どもたちを見守り支えていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



入学式 4月8日体育館にて



<教職員の異動>

◎ 退職 3名 ◎ 転出 6名 ◎ 転入 12名

ご退職、転出された先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。ご活躍をお祈りいたします。そして、新しくお見えになった先生方、どうぞよろしく願いいたします。



4月6日に行われた始業式にて、生徒の皆さんに話をしたことを掲載いたします。

2026年度1学期始業式言葉

いよいよ新年度の始まりです。まずは、新3年生、新2年生の皆さん、進級おめでとうございます。

皆さんは今、新しい学年、新しい学級、新しい仲間、そして、新しい先生との出会いに、心ときめかせ、決意を新たにしていることでしょう。皆さんにとって4月は心機一転再出発のときであり、これまでの学校生活を振り返って、よいところはさらに伸ばす工夫をしたり、軌道修正すべきところは素直な心で改めたりしていくことが大切です。

そして、新3年生は最高学年として、新2年生は中堅学年としての自覚と責任をもち、学習面、生活面ともに充実した学校生活を送ってほしいと思います。また、このあと入学してくる新1年生に対して、本校生徒として模範となるような言葉、行動を心がけ、上級生としてリーダーシップを発揮することを期待したいと思います。

また、4月は出会いがたくさんあります。時に、出会いは全てが思い通りにいかないこともあります。そんな時でも、出会ったことを幸運に思う気持ちを育てることが大切です。

では、新年度の始業式の日にあたり、ダイヤモンドの話をしたいと思います。

ダイヤモンドには、その価値や品質を評価するための国際基準があります。「重さ」「色」「透明度」「研磨」の4つです。英語でいうと、**Carat・Color・Clarity・Cut**となり、その頭文字をとって、「ダイヤモンドの4C」と呼ばれています。実は、この中で唯一、人間の手にゆだねられているものがあります。それは何だと思いませんか。

まず、「**Carat**」。これはダイヤモンドの重さのことです。大きさとってもよいでしょう。大きさは人間の手で変えることができるでしょうか。大きな石を小さくすることはできますが、小さい石を大きくすることはできません。ですから、「カラット」は人の手で変えることはできません。

では、「**Color**」は？ダイヤモンドには、黄色がかったものやピンクがかったものなど色のついたものがありますが、無色透明なものほど価値が高いとされています。そこで昔から多くの科学者がダイヤモンドの脱色を試みてきました。しかし、未だに成功していません。つまり、色も人間の手で操作することはできません。

「Clarity」はどうでしょう。ダイヤモンドは天然石ですから、気泡や不純物が含まれています。これらはダイヤモンドの輝きの元となる光の透過や反射を妨げてしまいます。取り除くためには石を壊さなければなりません。従って、これについても人の力は及びません。

残るは、「Cut」です。原石の形を整え、磨きをかけ、最高の輝きを引き出す工程です。そうです。これこそが唯一人間の技術にゆだねられ、人の手によって価値を高めることができるものなのです。どんなに大きくても、無色透明で不純物がなくても、磨かなければただの石です。磨くことによって石はダイヤモンドになるのです。

これは、人についても同じことが言えるのではないかと思います。人にはそれぞれ違った個性や能力があります。でも、どんなに才能があっても、それを磨いて発揮しなければ「ない」と同じです。子供は「学習」によって、大人は「仕事」によって個性や能力を磨き、自分の価値を高めます。この一年、様々な出会いや学びを通して自分の能力を引き出し、高めてください。皆さん一人一人がダイヤモンドより強い輝きを放つことを期待しています。

では、新年度を迎えた今、改めて頑張る決意を固め前進していきましょう。

<保護者の皆様へ>

学校生活において、学習に関すること、アレルギーに関すること、携帯電話の持ち込みや標準服に関する事など、不安なことや配慮してほしいことなどがございましたら、学校まで速やかにご相談ください。

アレルギーに関しては、学校生活管理指導表の提出にまでに至らない場合でも配慮を必要とする時は、担任や養護教諭にご相談ください。なお、携帯電話の持ち込みに関しては、学校における教育活動に直接必要のない物であることから、部活動の大会参加時も含め、学校への携帯電話の持ち込みは原則禁止ですが、緊急の連絡手段とせざるを得ない場合やその他やむを得ない事情がある場合などは、学校にご相談ください。また、標準服に関しても、着用に関して不安なことや特段の配慮が必要な場合には学校にご相談ください。

